

先輩職員にインタビュー！



総務部 総務課 契約管財担当
(平成22年入庁 16年目)

業務内容は？

町でモノを購入する、業務を委託する、工事をする際の入札をすることや、庁舎を主とした施設の修繕などの維持や、町で所有する土地の管理などを行っています。

笠松町で働く魅力は？

とても小さい町ですが、小さいからこそ町民の方の声を直に聞くことも多く、一度お世話になった町民の方が覚えてくださって、お声掛けいただけることもあり、町全体を通じてアットホームな雰囲気を感じることがあります。

仕事のやりがいとは？

仕事は各課の事業に関する入札や、庁舎施設利用の調整や修繕など、役場内の事務処理が主なものとなりますので、自分が実施した業務で他課の業務の役に立ち、「ありがとう」と言われたときにやってよかったと思います。

仕事で心がけていることは？

契約管財担当は、入札など、他の課が事業を進めるための前段階の業務が多く、自分が行った仕事が担当課に渡った後に問題が発生しないよう、色々な事を想定し慎重に進めることを心がけています。

民間企業と公務員での仕事の違いは？

大学卒業後、製造業の営業をしていました。自分が育った場所で働き、貢献することでお世話になった方に何か還元することができるのは幸せな事だと考え、入庁試験を受けました。職種によると思いますが、私は違いを感じたことはありません。入札や施設の工事、業務委託などで多くの企業と関わる中で、民間企業の方も公務員も目的に向かって仕事をするのは同じだと思いました。

受験者にひとこと！

辛いこともあります。入庁して良かった事も多く、皆さんにも実感していただきたいです。公務員を志望する中で笠松町を選んでもらえたらうれしいです。

先輩職員にインタビュー！

業務内容は？

議会運営に関する事務(予算の管理、議会準備など)を行っています。

ワークライフバランスは？

子どもが小学校に入学するまで時短勤務が可能なので、始業時間と就業時間を調整させていただいています。部署や業務内容に拠るところも大きいとは思いますが、助かっています。

求められる人材は？

自治体業務は、今までアナログ基本だった業務が徐々にデジタルにシフトしつつあるタイミングかと思うので、アナログとデジタル双方の活用ができる柔軟性があるといいのではないかと思います。

議会事務局

(平成23年入庁 15年目)

仕事で心がけていることは？

不明点は必ず条例や規則を確認し、正確な対応を心がけています。また、業務効率化のため、導入されているローコードツールやExcelの自動化を調べ、残業を減らせる工夫を進めています。

受験者にひとこと！

業務は幅広く、日々新しい課題に向き合う必要があります。決して楽ではありませんが、その分だけ知識や判断力が着実に身につく環境です。住民の方から直接感謝の言葉をいただける機会は多くありませんが、ふとした瞬間に「役に立てた」と実感できることがあり、それが大きな励みになっています。前向きに挑戦したい方には、確かな成長の機会があると思うので、一緒に頑張りましょう。

先輩職員にインタビュー！

業務内容は？

税務課は町県民税(住民税)係、固定資産税係、収納係の3つの係で構成されており、私は住民税係に所属しています。主に町民の方々の所得に基づき、町県民税の計算および税額の決定を行っています。適正な課税を通して、町の財政基盤を支えています。

ワークライフバランスは？

土日祝日など基本的にお休みですし、年次有給休暇も1時間単位で取ることができるため、プライベートの時間はしっかり確保できると思います。私の場合、金曜日を少し早めに仕事を終えて土日と合わせて旅行に行ったりしています。休む時はしっかり休み、リフレッシュして仕事に向き合える環境です。

求められる人材は？

日々の業務の中で「もっと効率化できるのでは」という視点を持ち、DX(デジタルトランスフォーメーション)などの新しい手段を前向きに学びながら、そこで得た気づきを自分なりに形にして提案できる方を求めています。

総務部税務課 住民税担当 (令和6年入庁 3年目)

仕事で心がけていることは？

専門用語をそのまま使わず、どなたにも伝わる「わかりやすい言葉」で説明することを常に心がけています。行政の用語は難しくなりがちですが、「相手への思いやり」を大切にし、窓口や電話で町民の方が納得・安心していただける対応を目指しています。

挑戦したいこと！

課の業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に挑戦したいです。現状、紙をベースとした手作業が多い部分がありますが、Excelや業務アプリを活用して業務を効率化していきたいと考えています。また、オンライン申請や予約システムなども積極的に取り入れ、町民の方々の利便性を向上させることにやりがいを感じています。

受験者にひとこと！

税務課の仕事は法律や制度に沿った正確さが求められます。覚えることが多いうえ、毎年改正で常に勉強し続ける必要があるため、大変に感じると思います。しかし、わからない時は課内全員で助け合い、一丸となって取り組むため安心してください。熱意ある皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

先輩職員にインタビュー！

住民福祉部健康介護課 母子保健担当
(令和7年入庁 1年目)

業務内容は？

妊娠期から子育て期までのお子さんと保護者の方を対象に、乳幼児健診や家庭訪問、育児相談などを行っています。関係機関と連携しながら、切れ目のない支援に取り組んでいます。

仕事のやりがいとは？

保護者の方から「相談してよかった」と言ってもらえたときや、保護者の方の笑顔が増えていく様子を見られたときにやりがいを感じます。また継続して関わる中で、お子さんの成長を見守れることも魅力です。

笠松町で働く魅力

住民の方との距離が近く、一人ひとりに寄り添った支援ができる場所です。町の特性を活かした支援ができる点や、顔の見える関係づくりがしやすい点も魅力だと感じています。

受験者にひとこと！

覚えることが多く、大変さを感じることもありますが、先輩方に相談しながら業務に取り組める環境だと感じています。

先輩職員にインタビュー！



企画環境経済部 企画DX課 観光プロモーション
(平成30年入庁 8年目)

業務内容は？

イベント開催などの「まちの魅力発信」を主に行っています。そのほかにも、自治体DX推進や町内中学生を北海道に連れていく事業なんかも行ったりしています。

入庁当初の志望動機は？

大学時代に地域活性化について学んでいたもので、祖父母の住む笠松の魅力を高めたい・そこに住む人々の生活を豊かにする一助になりたいと思い志望しました。特にどの部署で従事したいという希望はありませんでした。

仕事のやりがいとは？

特にイベント開催では、自分の思い描いたものを形にすることができたときの達成感があります。公務員は淡々と仕事をするイメージが強いと思いますが、今の部署では如何に去年よりも良いものを創り上げるかということを念頭に仕事をしています。

職場の雰囲気は？

上司や同僚に恵まれて、協力し合える環境・やりたいことに挑戦させてもらえる環境が整っています。少ない職員数だからこそ全員が顔馴染みで、部署を移動しても周りの職員に相談しやすいことが特徴であり良いところだと思います。

ワークライフバランスは？

業務の性質上、休日出勤も少なくありませんが、その分代休も付与されるので、計画的な休暇取得ができます。職場内で素敵な人生の伴侶にも出会えたので、お互いの仕事への理解もばっちりです。

受験者にひとこと！

公務員として働くなら「そこに住む人々の役に立ちたい！」という志望動機の方が大半かと思いますが、ぜひその素晴らしい初心を忘れないでください。長く勤めることで考えが凝り固まってしまうこともあります。地域のためという大前提さえ忘れなければ、きっと感謝され続ける存在になると思います。

先輩職員にインタビュー！



建設部 建設課 地域再生推進担当
(平成22年入庁 17年目)

業務内容は？

生活に欠かせない道路、河川、橋梁等をはじめ、住民の憩いの場である公園整備といった生活に密着した施設整備、維持管理のほか、町の未来を考える都市計画施策の検討、土地の境界の確認など、様々な分野で、町の土台となる業務を行っています。

入庁当初の志望動機は？

高専にて土木を専攻したのち、他県でインフラ整備の設計、管理に携わっていましたが、結婚を機に、新たな地で今まで学んだ経験を活かした仕事に再就職したいと考え、入庁を決意しました。

仕事のやりがいは？

住民の方から直接要望を頂くことが多い課であり、対応に苦慮する場面もありますが、職場の仲間と現場を確認し、相談を重ねながら解決できた時は、大きな達成感を感じます。そして何よりも、住民の方から直接感謝の言葉を頂いたときは、非常に嬉しく、今後の業務の糧となります。

職場の雰囲気は？

幅広い年齢層の住民の方からの意見、要望が多いため、対応策も様々ですが、課内には、経験豊富な諸先輩が多いことに加え、各々の考え方、捉え方について、とことん意見を出し合い、自分の意見もきちんと聞いてもらえる雰囲気は、非常にやりがいを感じられる環境です。

ワークライフバランスは？

子どもが小学校低学年で、学校行事等と仕事をまだまだ両立させていかなければなりません。職場の同僚、上司の方々が状況を非常によく理解していただけるので、計画的に休暇を取得することができ、ストレスなく仕事とプライベートのバランスがとれています。

受験者にひとこと！

建設課は、道路、河川、公園への要望といった生活の基盤となるものが多く、併せて、住民の方と直接触れ合う場面も多いところですが、その中で、自分の意見が実際にカタチになり、感謝の言葉を頂いたときはとてもやりがいを感じる場所です。

先輩職員にインタビュー！



業務内容は？

主要な業務は、下水道未普及区域の下水道整備です。国の交付金の申請や下水道整備区域の計画、調査、設計、工事監督が主要業務です。その他に下水道の維持管理（修繕工事など）や下水道の水質管理となります。

入庁当初の志望動機は？

入庁前は、ゼネコンで勤務しておりました。勤務地が茨城県鹿嶋市で、東日本大震災に遭い、被災地復興工事などに携わりました。この経験で、地元貢献という思いを強く持ち、私の地元である笠松町で、これまでの経験を活かし、地元貢献がしたいと思い志望しました。

仕事のやりがいとは？

生活する上で必要不可欠なライフラインを支える仕事が水道課の業務です。どんな些細な仕事でも住民の生活に直結する仕事であるため、全ての仕事にやりがいを持って従事しています。そして、我々の仕事は、計画から工事発注する立場で、決して仕事を受ける側ではありません。自分から積極的に物事進めていかなければ、何も始まりません。その分、責任感を持てる仕事でもあります。

水道部 水道課 下水道工務担当

（平成26年入庁 13年目）

職場の雰囲気は？

一言で表すと、緊張感のある職場です。それは、水道業者や住民、建築会社など常に問い合わせの電話や窓口対応が絶えない職場だからです。また、水道料金や下水道使用料を徴収し経営している公営企業でもあるため、民間企業に近い雰囲気がある職場だと思います。ただし、少人数で比較的、若い職員で構成されているため、時には談笑もあり活気のある職場です。

ワークライフバランスは？

水道課職員各々が担当業務を持ち、仕事に慣れさえすれば、自分の裁量で業務を進められ、年次有給休暇もしっかり取得できます。土日を絡めて3連休にすれば、小旅行にもいけます。私の場合は、子供たちと車中泊やBBQをして、心身のリフレッシュをし、仕事の活力にしています。

受験者にひとこと！

水道課の仕事は、24時間365日、どこかで何かが起きる職場だと思ってください。それがライフラインを支える仕事で、正直に言って忙しく、辛い仕事もあります。同時にやりがいも実感できる仕事です。やる気に満ちた方、大歓迎です。一緒に笠松町のライフラインを支えましょう。

先輩職員にインタビュー！



業務内容は？

母子手帳の交付や赤ちゃん訪問、子どもの教室・健診などの母子保健事業を行っています。

入庁当初の志望動機は？

保健所や病院など保健師の働く場は他にもありますが、町の保健師は、住民の方の生活により近い位置で長く関わることができることに魅力を感じました。また、幅広い世代の健康づくりに携わる仕事がしたいと思い志望しました。

仕事のやりがいとは？

どのような教室や制度があると子育てがしやすいかを考え、教室を展開することができます。教室や健診を通して、子どもの成長が見られた時はやりがいを感じます。また、多職種と関わることができるため、様々な視点から物事を考えることができ、自身のスキルアップにもつながります。

住民福祉部 健康介護課 子育て世代包括支援センター担当
(平成29年入庁 10年目)

職場の雰囲気は？

仕事のことはもちろん、その他のことも気軽に相談できる職場です。保健師同士、仲が良く話しやすいため、常に情報共有しながら、お互い助け合って仕事をしています。

ワークライフバランスは？

忙しい時期もありますが、基本的には自分のペースで仕事ができ、趣味の時間を確保することができます。仕事の調整がついた時は、休暇を利用し家族や友人との食事を楽しんだり旅行をしたりと、充実した休暇を過ごしています。

受験者にひとこと！

町の保健師は、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い世代の方を対象に保健活動を行うため、覚える内容も多く大変なこともあります。町の規模だからこそ実現しやすい保健活動もあります。専門知識を生かしながら笠松町で一緒に働きませんか。